

2023年度細菌検査精度管理 結果のご報告

**一般社団法人食品微生物科学協会
精度管理委員会**

配布試料

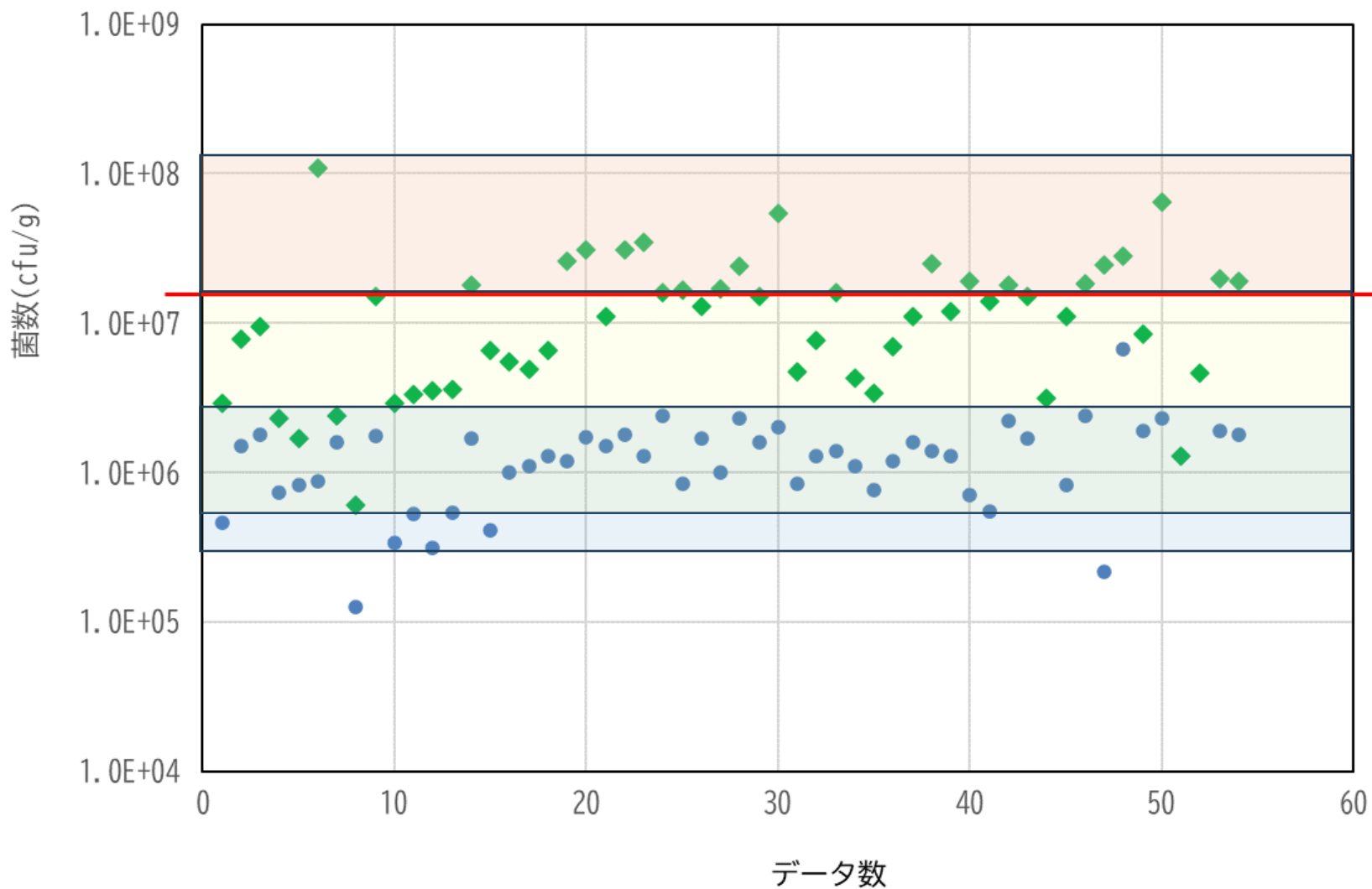
○スキムミルクを基材とした共通試料 40 g

添加した 微生物菌株	E.Faecalis (エンテロコッカス・フェカーリス) C.freundii (シトロバクター・フレウンディー)		
作製当日の 試料の菌数	一般生菌数	4.3E+07	/ g
	大腸菌群数	2.9E+06	/ g

散布図2023(個別)

◆ 一般生菌数 ● 大腸菌群数

協会基準値
菌数 $1.3E+07$
対数值 7.11



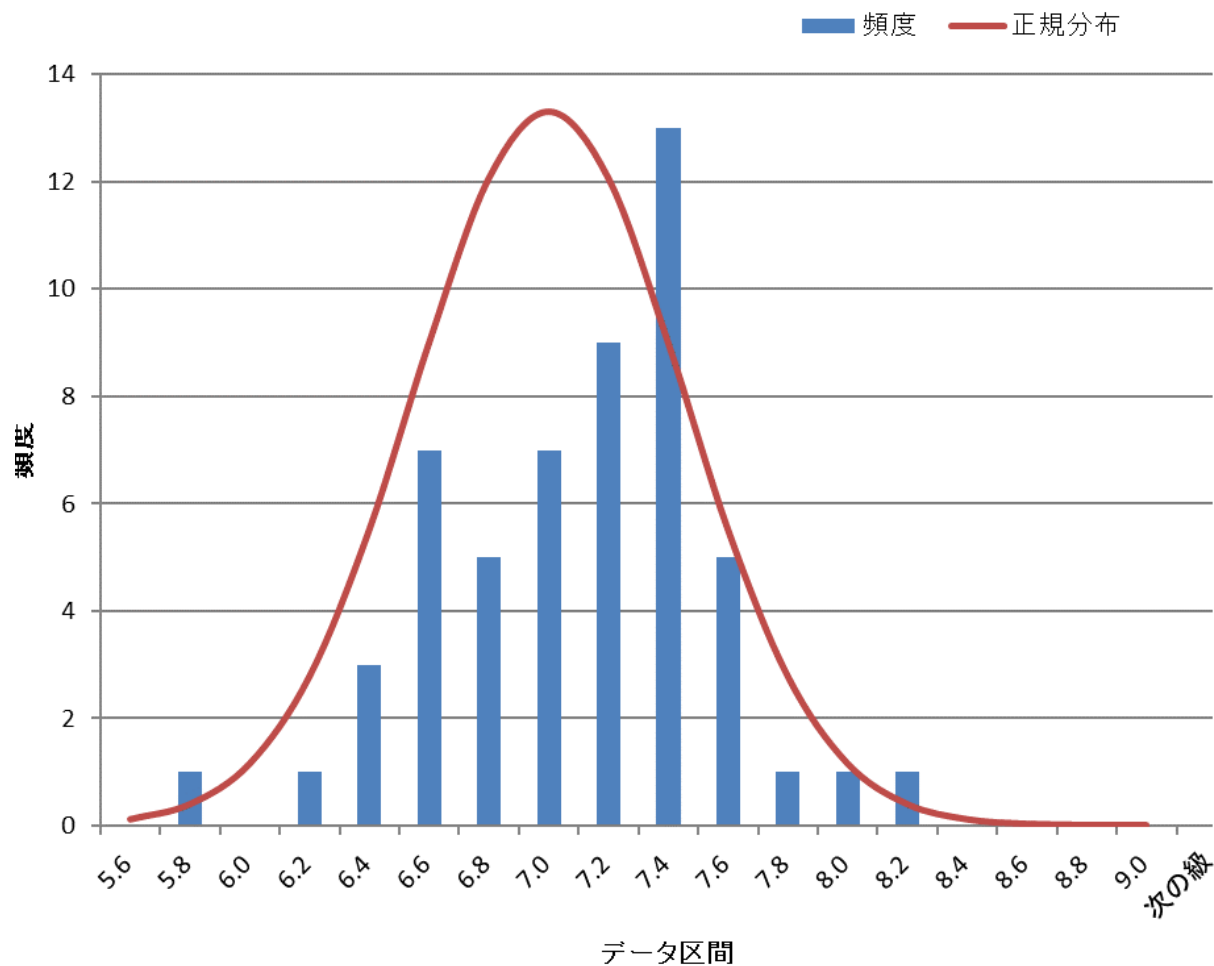
ヒストグラム2023 (一般生菌数)

• 一般生菌数：作製時 対数値7.63 (4.3E+07)

以上	未満	
	~5.6 (3.98E+05)	0
5.6 (3.98E+05)	~5.8 (6.31E+05)	1
5.8 (6.31E+05)	~6.0 (1.00E+06)	0
6.0 (1.00E+06)	~6.2 (1.58E+06)	1
6.2 (1.58E+06)	~6.4 (2.51E+06)	3
6.4 (2.51E+06)	~6.6 (3.98E+06)	7
6.6 (3.98E+06)	~6.8 (6.31E+06)	5
6.8 (6.31E+06)	~7.0 (1.00E+07)	7
7.0 (1.00E+07)	~7.2 (1.58E+07)	9
7.2 (1.58E+07)	~7.4 (2.51E+07)	13
7.4 (2.51E+07)	~7.6 (3.98E+07)	5
7.6 (3.98E+07)	~7.8 (6.31E+07)	1
7.8 (6.31E+07)	~8.0 (1.00E+08)	1
8.0 (1.00E+08)	~8.2 (1.58E+08)	1
8.2 (1.58E+08)	~8.4 (2.51E+08)	0

協会基準値
1.3E+07
(対数値
7.11)

ヒストグラム(一般生菌数)



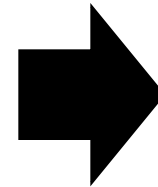
Zスコア値の計算式

$$\begin{aligned} & \text{[結果値 - 平均値 (6.95)]} \div \text{標準偏差(0.43)} \\ & = \text{| Zスコア値 | (絶対値)} \end{aligned}$$

[計算式に用いた平均値・標準偏差の値について]
「2023年度一般生菌数集計表」から以下の条件にて、
データスクリーニングを行い、Zスコア値を算出した。

[条件]

- ・ 試料到着時の保冷剤および箱の損傷に問題がないこと
- ・ 試料到着後冷蔵保管
- ・ 試料到着後3日以内に検査実施 (11/8~11/11)



[採用したデータ数]
54個中50個該当

※ 2023年度一般生菌数集計表の●印

※参考までに標準偏差の比較

全てのデータ数54個	0.448
データスクリーニング後データ数50個	0.431

【細菌検査精度管理の目的】

模擬食品における食品検査を通して、**自社における検査結果の精確性を確認する**とともに、他社との情報交換を通して検査技術の確認およびレベルアップを図る。

精確性

精密さ⇒複数回測定したときに得られる測定値が、ほぼ同じであり安定した測定とが得られている。

正確さ⇒実際の測定によって得られた測定値（観測値）が、どの程度「真値」に近づいている。

もう一度、ご確認ください・・・

- 検査員一人一人の検査結果が、近い測定値を得られていましたか？
- 協会の目標値との差は小さい或いは大きいと思いますか？
- データ分布図或いはヒストグラムにて他社と比較した際、満足できるものですか？